



掛下 哲郎 准教授が情報処理学会・第 86 回全国大会にて
「大学におけるデータサイエンス専門教育の現状」について招待講演

【概要】

数理・情報部門の掛下 哲郎 准教授が、2024 年 3 月 15 日（金）に神奈川大学にて開催される情報処理学会 第 86 回全国大会のイベント「これからの大学における一般情報教育とデータサイエンス教育」において、「大学におけるデータサイエンス専門教育の現状」と題した招待講演を行います。

【本文】

2024 年 3 月 15 日（金）～17 日（日）に神奈川大学・横浜にて開催される情報処理学会 第 86 回全国大会のイベント「これからの大学における一般情報教育とデータサイエンス教育」において、数理・情報部門の掛下 哲郎 准教授が「大学におけるデータサイエンス専門教育の現状」と題した招待講演を行います。

掛下准教授は情報処理学会データサイエンス教育委員会の委員長として、データサイエンス・カリキュラム標準（専門教育レベル）の策定に取り組むとともに、データサイエンス専門教育を行っている学部・学科の調査を行っています。本講演では、これらに関する現状を報告します。また、本イベントでは、一般情報教育やデータサイエンス教育に関する最新の調査報告の他に、パネル討論「2025 年以降の大学における一般情報教育とデータサイエンス教育の将来像」も予定されています。

記

イベント名：これからの大学における一般情報教育とデータサイエンス教育

講演題目：「大学におけるデータサイエンス専門教育の現状」

講演者：理工学部 数理・情報部門 掛下 哲郎 准教授

（（一社）情報処理学会 データサイエンス教育委員会 委員長）

日時：2024 年 3 月 15 日（金）9:30～11:30（講演は 10:00～10:30）

場所：神奈川大学・横浜 第 1 イベント会場

講演要旨：

データサイエンス教育委員会では、日本国内のデータサイエンス学部や学科などを調査し、専門教育の内容を分析した。本講演では、その結果について報告する。文部科学省による数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度の認定を受けた教育プログラムは、リテラシーレベルで 382 件、応用基礎レベルで 147 件ある（令和 5 年 8 月時点）。これらは共通

教育として2~4単位程度の規模でデータサイエンス教育を提供している。

一方、我々の調査では、データサイエンス分野の専門教育を行っている大学の22の学部や学科などを対象とする。これらの学部や学科の卒業要件に基づいて履修計画を立案し、それに合わせてシラバス（授業計画）を収集した。その後、生成AIを活用して、情報処理学会データサイエンス・カリキュラム標準とシラバスに記載された教育内容を比較した。

イベントホームページ：<https://www.gakkai-web.net/ipsj/86/event/html/event/B-5.html>



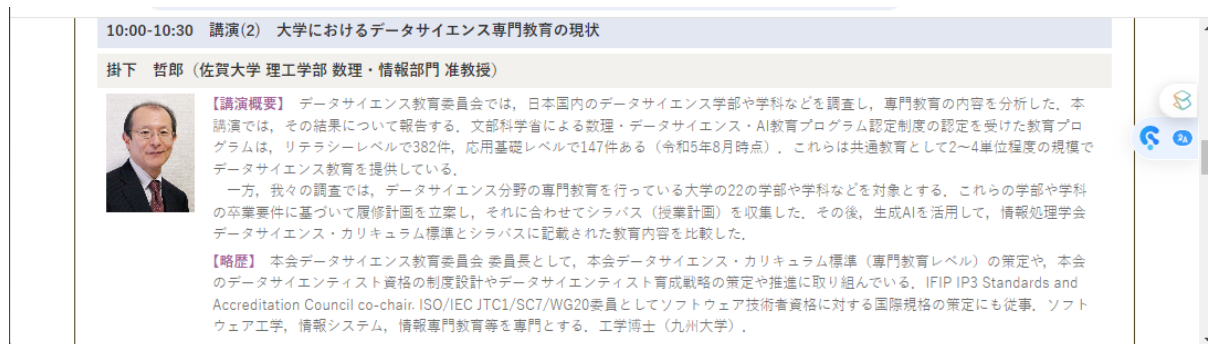
情報処理学会 第86回全国大会
The 86th National Convention of IPSJ

会期 2024.3.15 (土) - 3.17 (月)
会場 神奈川大学 横浜キャンパス

これからの大学における一般情報教育とデータサイエンス教育

日時：3月15日 9:30-11:30
会場：第1イベント会場

【セッション概要】情報処理学会一般情報教育委員会（GE委員会）では日本の大学における一般情報教育の調査を計画している。一方、データサイエンス教育委員会（DS委員会）では日本の大学におけるデータサイエンス専門教育の調査を計画している。本シンポジウムでは、これらの調査結果などを報告するとともに、現状を踏まえて、新学習指導要領で学んだ高校生が入学してくる2025年以降を見据えた日本の大学における一般情報教育やデータサイエンス教育の将来像についての議論を行う。議論の結果は、今後予定されている一般情報教育の知識体系（GEBOK）や一般情報教育のテキストなどの改訂、情報処理学会の次期カリキュラム標準にも反映できる。



10:00-10:30 講演(2) 大学におけるデータサイエンス専門教育の現状

掛下 哲郎 (佐賀大学 理工学部 数理・情報部門 准教授)

【講演概要】データサイエンス教育委員会では、日本国内のデータサイエンス学部や学科などを調査し、専門教育の内容を分析した。本講演では、その結果について報告する。文部科学省による数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の認定を受けた教育プログラムは、リテラシーレベルで382件、応用基礎レベルで147件ある（令和5年8月時点）。これらは共通教育として2~4単位程度の規模でデータサイエンス教育を提供している。

一方、我々の調査では、データサイエンス分野の専門教育を行っている大学の22の学部や学科などを対象とする。これらの学部や学科の卒業要件に基づいて履修計画を立案し、それに合わせてシラバス（授業計画）を収集した。その後、生成AIを活用して、情報処理学会データサイエンス・カリキュラム標準とシラバスに記載された教育内容を比較した。

【略歴】本会データサイエンス教育委員会委員長として、本会データサイエンス・カリキュラム標準（専門教育レベル）の策定や、本会のデータサイエンティスト資格の制度設計やデータサイエンティスト育成戦略の策定や推進に取り組んでいる。IFIP IP3 Standards and Accreditation Council co-chair. ISO/IEC JTC1/SC7/WG20委員としてソフトウェア技術者資格に対する国際規格の策定にも従事。ソフトウェア工学、情報システム、情報専門教育等を専門とする。工学博士（九州大学）。

イベントのホームページ

以上